

法人（事業所）理念		子どもたちの無限の可能性を引き出すための場所を提供し続ける								
支援方針		子どもたちが「自ら考え、選択し、行動できる」大人を目指せる支援を行う								
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	備考	土曜・長期休業期間中の営業時間 8:30-17:30	
支援内容										
		(項目)		(実施目的)			(支援の具体例)			
本人支援	健康・生活		<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の維持・改善 ○生活習慣や生活リズムの形成 ○基本的な生活スキルの獲得 ○生活におけるマネジメントスキルの育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・自身の健康状態を知り、他者に伝えることの出来るスキルの育成や基本的な健康保持活動の定着を通じ、日常生活動作全般の向上を目的とした支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎定期的な検温と健康状態チェック ◎通所時の手洗い・うがいのルーティーン化 ◎当番制による忘れ物のチェック ◎当日のプログラムを視覚化（時間の概念を養う） ◎定期的なクッキングプログラムによる食育 		
	運動・感覚		○感覚・運動検査		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に聴こえの状態を把握するとともに、聴こえの変化への早期発見と対応を行います。また、効果的な支援方法の立案と見直しをしながら再評価を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎行動観察および言葉の聞き取り能力の確認 ◎発声発語・構音の検査、会話明瞭度・自然度の判定や分析 		
			○聴覚活用・補聴管理 ○補聴機器の自己管理		<ul style="list-style-type: none"> ・言語や情緒・認知発達を促し、補聴機器の自己管理の確立を目指した支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎聞こえの状態に合わせた環境調整 ◎補聴器管理の理解や実際の対応方法の助言や支援 		
			○全身や口の運動 ○多感覚の協調		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的運動能力の向上を含めたからだづくりを行うとともに、運動、感覚機能の促進、聞き取りや発声発語能力の安定化を目的とした支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎定期的な運動（公園遊び、ヨガなど）プログラムのほか、リトミックやリズム運動、ビジョントレーニング、消えたの何？、ストラックアウト、ポーズ合わせ、輪投げ、10秒ピットリゲーム、ツイスターゲーム、ピンポン玉リレー、ぬり絵やかな文字の運筆練習など ◎呼吸や随意的な口腔機能の練習 など 		
			○聞き取り		<ul style="list-style-type: none"> ・能動的に聞く態度の形成し、騒音環境内での随意的な聞き取り能力の向上を目的とした支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎聴覚的集中の練習、語音やことばの聞き取りの基礎練習、聴覚記憶の練習、書き取り練習 など 		
	認知・行動		○行動観察		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な行動観察を行いながら気持ちや考え方の変化のを素早く察知するための支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎行動観察、構文検査、手話語りやスピーチ能力の評価 ◎LC SA（言語・コミュニケーション能力の評価）など 		
			○語用スキル		<ul style="list-style-type: none"> ・質問・応答関係や場面に合ったことば遣いや情感の共有力を育てるための支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニケーション支援、質問－応答関係の知覚練習、手話読み、プロソディ（発話のリズムや強勢、イントネーションなど）の知覚練習、SST（ソーシャルスキルトレーニング） など 		
			○定期的な認知機能検査		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さま個々の特徴を知り、日々の支援に活用するとともに、効果的な支援方法の立案と見直しのための機能検査を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎WISC-V（ウェクスラー児童用知能検査） 		
○高次脳機能の向上			<ul style="list-style-type: none"> ・集中力や注意・思考の柔軟な切替え能力、素早い認知処理の持続力の促進を図り、想像を広げて考えることや、問題解決できる力の育成を図るための支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎注意・集中の自己調整練習、知覚探索の練習、脳トレ、間違い探し、迷路、仮名拾い、前頭葉機能のトレーニング、3段階法ゲーム、聴覚的記憶力（把握・再認）の向上練習 など 				

		支 援 内 容				
		(項目)	(実施目的)	(支援の具体例)		
本人支援	言語 コミュニケーション	○定期的な言語発達評価	・定期的に言語の基礎力や熟達度の把握し、効果的な支援方法の立案と見直しを図るための支援を行います。	◎行動観察、PVT-R（語彙の評価）、読み書き検査、LCSA（言語・コミュニケーション能力の評価）、構文検査		
		○手話言語機能	・手話で育つお子さまの特徴に合わせた支援の実施するとともに、ことばの受容感（わかる・実感）の育成、内言（音声を伴わずに自分自身の中で用いる言語、または思考の道具としての言語）や言語的思考の発達を促すための支援を行います。同時に手話の理解・表現力や日本語能力の向上も目指します。	◎手話での支援、手話集め（手の形・位置・動き）、気持ちの表現、語の概念形成の練習、3ヒントクイズ、指文字しりとり、指文字での呼称練習、あいうえ階段、語列拳、2コマ漫画の説明 など		
		○発音発語・構音	・随意的な音声・構音の力の安定化を図り、会話明瞭度・自然度の向上を目的とした支援を行います。	◎呼吸の自己調整練習、発声発語・構音練習 ◎プロソディ（発話のリズムや強勢、イントネーションなど）や情緒表現の知覚練習、創作となえうた など		
		○音韻・語彙	・音韻・音節意識の向上、語の概念形成や発達の促進、さらには語彙の量や質（単語知識など）の向上、言語的思考力（抽象化）の促進を目的とした支援を行います。	◎ことば階段、ことば探し、クロスワード、かるた、3文字しりとり、文字すごろく など ◎仲間あつめ（色・形・カテゴリー）、絵本読み、連想ゲーム、マジカルバナナ、3ヒントクイズ、なんじゃもんじゃ、反対コトバ神経衰弱、ことばビンゴ、なぞなぞ など		
		○統語（単語と単語をつなぐ規則、またはその規則に従って配列された単語の構造）	・豊かな日本語の表現方法を知るとともに、語と語の関係（助詞や副詞など）の強化、因果関係を考える読解能力の向上を目的とした支援を行います。	◎当てっこゲーム、3ヒントクイズ、物語の音読、感情ことば、文法間違いさがし（聞き取り）、作文・感想文・日記の練習、漫画の吹き出しを考える。情景画の説明や4コマ漫画の説明、発問の工夫（例：「なんで？」「どうして？」）、陳述となえうた、程度・状態副詞を使った表現の練習 など		
		○日本語の読み書き	・形の認識や書記言語能力の安定化を図るとともに、主体的に読もうとする態度の育成や場面を想像し、情緒的に読み取る力の上達を目的とした支援を行います。	◎教材（例：分割漢字、暗記カード、分かち書き）の活用、用具（例：視覚的枠組み、ことば辞典）の活用、水書や空書、状況やテーマのある絵本読み、ビジョントレーニング、形状の知覚練習、身体文字、PCやスマホの実践練習 など		
	人間関係 社会性	○実践的コミュニケーション ○社会的な生活技能	・一般常識や社会的知識の形成やメモ書き取りスキル向上など、働くことや社会的自立を意識した支援を行います。 ・また、肯定的な自己意識の育成や、他者の意見から自己調整できる力を育むための支援を行います。	◎ロールプレイやSST（例：地域で起こり得る場面の確認、対処方法、場面に合ったことば遣い、要求方法の確認、他者の視点や自身との違いに気づく など） ◎自分の強みを活かす作成会議、ピアグループ活動、難聴児かるた、実用的スキル練習（例：書き取り練習）、様々な環境内での活動の振り返り など		
		○自身に合ったコミュニケーション方法習得	・対人関係能力（共感・協調性）の向上を図る、問題解決能力を高めたり、自己開示の方法を知るなど、自己の客観視や肯定的な自己理解を育むための支援を行います。	◎コミュニケーション支援、自分のことを伝える練習、プロソディ（声の大きさや話す速さの調整）の練習、SST、自分に必要な要求や主体的な情報の確かめ方法の確認、生活の中での困り感や葛藤などの具体的な振り返り など		
	家族支援	○アタッチメント(愛着)の安定	・保護者様がお子さまの日々の成長を直感的に理解できるよう、連絡帳の電子化（アプリ化）を図っています。 ・スタンプカード（各家庭で決めたルールを達成することによりそれぞれの保護者からブライズを得られる仕組み）の活用を通じて保護者様とお子さまのつながりの強化を図っています。	移行支援	○ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備	・事業所が実施する社会見学等（企業訪問や見学）の機会を通じ、「働く」ことを意識できるプログラムを実施しています。 ・高等教育機関への進学を希望する利用児童生徒に対し、必要な学習支援および大学生活等の実情を学ぶ機会を提供しています。
		○家族(きょうだいを含む。)からの相談に対する適切な助言等	・定期的な面談だけではなく、時季にとらわれない迅速な連絡・相談体制の構築をしています。		○放課後児童クラブ等と併行利用している場合における併行利用先との連携	・必要に応じ、各施設との相談の機会を設けています。
○障害の特性に配慮した家庭環境の整備		・定期的な情報提供や研修等を通じ、保護者様がお子さまの障がいに関する知識を深めるための機会提供を行ってまいります。	○地域とつながりの取組(地域の保育所等、児童館、地域住民との交流・行事等)		・地域の町内会や団体（障がい当事者団体）、児童館行事への参加を通じて地域とのつながりに取り組んでいます。	

事業所名

放課後デイサービスふくろう

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

地域支援・地域連携	○保育所・学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣特別支援学校の「学校運営協議会」委員に就任し、学校との定期的な意見交換や連携相談体制の緊密化を図っています。 ・利用児童生徒が通院する医療機関全てと連携し、診療情報提供の機会を得るなど情報共有体制を確立しています。 	職員の質の向上	○障がいを知るための研修（基礎研修）	・定期的な法人内研修のほか、当事者団体が実施する講演会・研修会等に積極的に参加しながら学びを深めています。
				○全国の事例を学ぶための研修（国内視察研修）	・毎年1回開催される全国研修会に参加しているほか、職員を他の事業所に派遣し、支援方法について学びを深めています。
				○職員自らが学ぶことに対する支援（自主研修支援）	・全国手話検定や手話講習会を受ける職員に対し、費用の一部を支援しています。
主な行事等	日常的に実施する行事	<ul style="list-style-type: none"> ◎始まりの会（プログラム説明のほか、各自がニュースを持ち寄り発表する） ◎帰りの会（その日1日の振り返りを行う） ◎運動DAY（毎月5のつく日に開催し、ヨガ体験等を通じて体力づくりなどを行う） 			
	季節行事	◎お正月イベント（伝統的なお正月の遊びを体験）、冬の自然体験イベント（雪遊び）、節分イベント、春の自然体験（外部講師を招き早春の自然を感じるイベントを実施）、七夕イベント、夏休みデイキャンプ、夏の自然体験（川遊び）、ハローウィン、クリスマス			
	交流行事	◎各種団体と連携して交流イベントを実施（開催例：障がい当事者団体と連携したスポーツ体験、専門学校と連携した陶芸体験 など）			
	社会見学等	◎職業意識や社会的自立を醸成するためのイベントを実施（開催例：放送局見学、防災施設見学、市街地をエリアとした宝探しイベント など）			